



「銀座線駅デザインコンペ・最終回」編

銀座線トレンドエリア駅デザインコンペは、2月27日(月)表参道ヒルズ 本館B3Fスペース オーにて、最終審査、結果発表及び表彰式を行いました。今回は、結果の紹介と銀座線全体の今後の工事スケジュール、デザインコンペの振り返りについてをお伝えします。

銀座線・駅デザインコンペについて

銀座線は1927年に東洋初の地下鉄として開業以来、東京の中心部の街をつないできました。開業当初からの伝統を引き継ぎ、世界トップレベルの安全・安心を守りながら、洗練された空間とサービスにより、日本だけでなく世界中から訪れるお客様に「豊かな経験」をご提供すべく、2012年12月から様々なアイデアを募集する「銀座線・駅デザインコンペ」を5つのエリアに分けて実施しました。今回は、最終回となる第5弾「銀座線トレンドエリア駅デザインコンペ」の結果についてご紹介します。

最優秀賞の発表

トレンドエリア駅デザインコンペは、青山一丁目駅・外苑前駅・表参道駅のデザインについて2016年9月から公募を開始しました。今回はトレンドエリアに相応しいグローバルなコンペを目指し、ホームページやポスター等で英語による募集、公開プレゼンテーションにおける通訳対応を行ったことにより、国外在住者11名を含む計74作品のご応募をいただきました。表彰式当日は、ノミネート作品応募者による公開プレゼンテーションを実施、その後厳正な最終審査により各賞を選定した結果、具志つや子様が最優秀賞を受賞されました。

コンセプト: **ACO-GARE** 人々の“あこがれ”と街並みが調和する駅デザイン

“ACO-GARE”は、フランス語のAccord(調和)とGare(駅)を組み合わせ、人々が街に抱く“あこがれ”を表現した造語です。青山の街に無数に存在する“あこがれ”の要素を抽出し、駅デザインに反映します。



外苑前駅改札口のデザイン



青山一丁目駅出入口のデザイン



奥社長(左)と具志つや子様(右)

〈具志つや子さんの受賞コメント〉

皆様の作品がすごかったので、とても不安だったのですが、今は純粋に嬉しさでいっぱいです。

普段通勤で表参道駅を利用しているのですが、利用している中で「こう変わってほしいな・・・」という思いを形にできる機会があったので、とても嬉しかったです。

今後自分でデザインした駅で気持ち良く過ごすことができることになるのでとても楽しみにしています。

全受賞者の発表

駅デザイン部門では、最優秀賞のほかに優秀賞2作品、入選5作品、特別賞3作品を選定しました。

賞名		氏名	所属
最優秀賞		具志 つや子	ノンスケール株式会社
優秀賞		岩間 直哉	株式会社博報堂プロダクツ
		ルイーザ ヴィセンテ・マルチネス	トニーメドウズアソシエイツリミテッド
入選		川口 哲太郎	株式会社NTTファシリティーズ
		松田 豪	三井デザインテック株式会社
		竹内 啓	—
		新田 知生	向日葵設計
		谷山 大介	シービーリサーチ級建築士事務所
特別賞	山村明義委員長選定	田畑 洋人	ロンドン・メトロポリタン大学
	紺野登副委員長選定	ジャコモ スポンツィリ	—
	松下美紀委員選定	パーコーン タワナポン	株式会社インテリアズ



優秀賞作品
(岩間直哉様)



優秀賞作品
(ルイーザ ヴィセンテ・マルチネス様)



受賞者全員と奥社長・審査委員

<山村明義審査委員長（東京地下鉄株式会社 専務取締役）講評>

全体を通じて、よく銀座線の歴史・伝統をとらえるとともに、また今後未来の駅がこうありたいという気持ちにあふれている提案だったと思います。4年間かけて下町エリアからトレンドエリアまで様々な経験を我々もさせて頂きました。

「豊かな経験」、2020年までに限らず2020年以降もこれからの駅に求められる形だと思います。私たちが皆様と共に得た「豊かな経験」をソフトとハードの両面で、時代の要望に答えていく駅づくりを推進していきたいと考えております。

工事スケジュール（予定）

銀座線のリニューアルは、5つのエリアのうち下町エリアの浅草～神田間7駅が2017年度にリニューアルを完了する予定です。また、他の4エリアも順次リニューアルを行なっていきます。

リニューアル工事のスケジュールにつきましては、次の表をご参照ください。

エリア	該当駅※	工事工程（予定）	備考
下町エリア	浅草 田原町 稲荷町 上野 上野広小路 末広町 神田	2015年度～2017年度	
商業エリア	三越前 日本橋 京橋	2016年度～2020年度	・三越前除く（未定）
銀座エリア	銀座	2017年度～2019年度	
ビジネスエリア	新橋 虎ノ門 溜池山王 赤坂見附	虎ノ門：2017年度～2021年度 新橋：2017年度～2022年度	・溜池山王・赤坂見附除く（未定）
トレンドエリア	青山一丁目 外苑前 表参道 渋谷	青山一丁目、外苑前：2018年度～2019年度 渋谷：2009年度～2021年度	・表参道除く（未定） ・渋谷は2019年度新ホーム供用開始予定

デザインコンペを振り返って

2012年12月～2017年2月までの約4年間にわたり、下町・商業・銀座・ビジネス・トレンドの5つのエリアに分けて、5回のデザインコンペを実施し多数のご応募をいただきました。作品の応募状況は、次のとおりです。

エリア	作品数	最年少	最年長
下町エリア	96	13	71
商業エリア	112	16	81
銀座エリア	182	11	84
ビジネスエリア※	234	8	80
トレンドエリア	74	16	74
合計	698		

※ビジネスエリアは、「駅デザイン部門」と「幻のホーム活用アイデア部門」の合計です。

5回のデザインコンペで総数約700作品の応募をいただきました。年齢につきましては、最年少は8歳から、最年長は84歳までと幅広い年齢層から応募をいただきました。

今回でデザインコンペは最終回を迎えましたが、駅のリニューアル工事は今後も続いていきます。工事期間中は大変ご不便をおかけしますが、これから生まれ変わる銀座線の各駅にご期待ください。